

2019年度 Webシステムプログラミングa

PHPによるDB操作(1)



■ (前回)提出課題の解答例 ■ MySQLの設定 ■ データベース作成の実際(復習含む)

(前回)提出課題の解答例

- 課題1: 九九の表においてサイズ(「行数」と「列数」)を入力し「送信ボタン」を押すと、そのサイズの九九の表(もうれれとは呼べないが…)を表示する動的なWebページを作りましょう。
 - ◆ 手順1:HTMLのファイル(「行数」「列数」入力Webページ)を「input_kuku.html」 という名前で作業フォルダに作成する.
 - ◆ 手順2:PHPプログラムのファイルを「kuku.php」という名前で作業フォルダに作成する(前回の資料を参考にすること).
 - ◆ 手順3:Webブラウザで手順1で作成したページにアクセスし確認する.

http://localhost/php02/input_kuku.html

E http://localhost/php02/input_kuku.html	О÷ û¢	🙁 九九課題
九九課題		
表示したい九九表のサイズは?		
行数:5		
列数:14		
送信		
	 ・ ・ ・	





<!DOCTYPE html> <html lang="ja"> <head> <meta charset="UTF-8"> <title>九九課題</title> </head> <body>



<h2>九九課題</h2>

<h3>表示する九九表のサイズは?</h3>

```
<form action="kuku.php" method="GET">
```

```
行数:<input type="text" name="gyo">
```

```
列数:<input type="text" name="retsu">
```

```
<input type="submit" value="送信">
```

</form>

</body> </html>

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="UTF-8">
<title>九九課題</title>
</head>
<body>
<h2>九九課題</h2>
<?php
// ここからPHPのプログラムが始まります(「//」以下はコメント)
$rows = $_GET["gyo"];
$cols = $_GET["retsu"];
echo ""; //「echolを使って文字列の表示(出力)
echo "";
//「for」を使った繰り返し処理(変数$iが「1」から「9」になるまで)
for( $i=1; $i<=$cols; $i++ ){
 echo ""、$i . ""; // 文字列と変数値の表示
}
echo "¥n";
for( $i=1; $i<=$rows; $i++ ){ // 繰り返し処理
 echo "" . $i . "";
 for( $j=1; $j<=$cols; $j++ ){ // 繰り返し処理(2重ループ)
  $atai = $i * $j; // かけ算を結果を計算し変数$ataiに代入
  echo "" . $atai . ""; // 掛け算の結果を表示
 }
 echo "¥n";
}
// ここまでがPHPのプログラムです
?>
</bodv>
</html>
```

(前回)提出課題の解答例

- 課題2:「身長(m)」と「体重(kg)」を入力し「送信ボタン」を押すと、BMI値を 表示する動的なWebページを作りましょう。BMI値は体格指数で、計算式は 「BMI=体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))」である(単位に注意!)、また、以 下の表を参考に判定(例「あなたは肥満(肥満体重)です。」)と表示させて みましょう。
 - ◆ 手順1:HTMLのファイル(「身長」「体重」入力Webページ)を「input_bmi.html」と いう名前で作業フォルダに作成する.
 - ◆ 手順2:PHPプログラムのファイルを「bmi.php」という名前で作業フォルダに作成 する.
 - ◆ 手順3:Webブラウザで手順1で作成したページにアクセスし確認する.

http://localhost/php02/input_bmi.html]

BMI	肥 满度	
19.8未満	- 10%未満	やせ(低体重)
19.8~24.2未満	-10%~+10%未満	正常(普通体重)
24.2~26.4未満	+10%~+20%未満	肥満傾向(過体重)
26.4以上	20%以上	肥満〈肥満体重〉



← → 🛙 http://localhost/php02/input_bmi.html 🛛 🔎 マ 🖞 🖒 🖾	BMI課題
BMI課題	shincho
あなたの身長は?	87
身長(m):1.75	
あなたの体重は?	ノオームナーダ
体重(kg):[87	
送信	
	→ Calhost/php02/bmi.php?shincho=1 タ · 山 C 図 BMI課題 × 合 ★ Q
	BMI課題
	あなたのBMI値は 28.408163265306 です.
	肥満(肥満体重)です.
	bmi.php

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="UTF-8">
<title>BMI課題</title>
</head>
<body>
<h2>BMI課題</h2>
<form action="bmi.php" method="GET">
<h3>あなたの身長は?</h3>
身長(m):<input type="text" name="shincho">
<h3>あなたの体重は?</h3>
体重(kg):<input type="text" name="taiju">
<input type="submit" value="送信">
</form>
</body>
</html>
```

<!DOCTYPE html> <html lang="ja"> <head> <meta charset="UTF-8"> <title>BMI課題</title> </head> <body> <h2>BMI課題</h2> <?php // 身長と体重のフォームデータの取得 \$height = \$_GET["shincho"]; // フォームデータから身長のデータを変数に代入 \$weight = \$_GET["taiju"]; // BMIの計算 \$bmi = \$weight / (\$height*\$height); // BMI値の表示 printf("あなたのBMI値は %s です. +n", \$bmi); // 判定の表示 if(\$bmi<19.8){ echo "やせ(低体重)です. "; }elseif(\$bmi<24.2){</pre> echo "正常(普通体重)です. "; }elseif(\$bmi<26.4){</pre> echo "肥満傾向(過体重)です. "; }else{ echo "肥満(肥満体重)です. "; } ?> </body> </html>

(前回)提出課題の解答例

- 課題3:「年」と「月」を入力して,指定したカレンダーを表示するWebページを作りましょう。
 - ※「年」と「月」はメニュー(リストボックス)を使う、および、PHPプログラムで作成すること. 年・・・1900から2099
 - 月・・・1から12
 - ◆ 手順1:PHPのファイル(「年」「月」入力Webページ)を「input_calendar.php」という名前で作業フォルダに作成する.
 - ◆ 手順2:PHPプログラムのファイルを「calendar.php」という名前で作業フォルダに 作成する(本資料における前回課題の解答をコピペして改造する).
 - ◆ 手順3:Webブラウザで手順1で作成したページにアクセスし確認する.

Fhttp://localhost/php02/input_calendar.phpJ

	ンダー
カレンダー課題	
表示するカレンダーは?	
年 :2018 ~	
月:10 ∨	
送信	





<!DOCTYPE html> <html lang="ja"> <head> <meta charset="UTF-8"> <title>カレンダー課題</title> </head> <body>



<h2>カレンダー課題</h2>

<form action="calendar.php" method="GET">

<h3>表示するカレンダーは?</h3>

```
年:<select name='nen'>
<?php
for ($i=1900;$i<=2099;$i++){
            echo "<option value='{$i}'>{$i}</option>";
}
?>
</select>
月:<select name='tsuki'>
<?php
for ($i=1;$i<=12;$i++){
            echo "<option value='{$i}'>{$i}</option>";
}
?>
</select>
<input type="submit" value="送信">
</form>
</body>
</html>
```

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="UTF-8">
<title>カレンダー課題</title>
</head>
<body>
<h2>カレンダー課題</h2>
<?php
$year = $_GET["nen"]; // 入力された年を取得
$month = $_GET["tsuki"]; // 入力された月を取得
// 入力された年月の月の始めの日の曜日を整数で取得(0:日曜・・・6:土曜)
$first_dweek = date("w", mktime(0,0,0,$month,1,$year));
$ndays = date("t", mktime(0,0,0,$month,1,$year)); // 入力された年月の日数を取得
```

(前回)提出課題の解答例

- 課題4: 1から100までの乱数による2つ整数の足し算の問題を表示,解答を入力して「送信ボタン」を押すと、正解か不正解か(不正解の場合は正しい答え)を表示するWebページを作りましょう。
 - ◆ 手順1: PHPのファイル(問題の表示と解答の入力Webページ)を「exam.php」という名前で作業フォルダに作成する(フォームデータはPOSTで送ること!!).
 ◆ 手順2: PHPプログラムのファイルを「answer.php」という名前で作業フォルダに作成する(フォームデータはPOSTで受け取ること!!).
 - ◆ 手順3:Webブラウザで手順1で作成したページにアクセスし確認する(何回か 試すこと).

http://localhost/php02/exam.phpJ



```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="UTF-8">
<title>計算試験課題</title>
</head>
<body>
<h2>計算試験課題</h2>
<form action="answer.php" method="POST">
<?php
$val1 = rand(1,100);
$val2 = rand(1,100);
echo $val1 . "+" . $val2 . "=";
echo "<input type='text' name='ans' size='2'>";
echo "<input type='hidden' name='val1' value='{$val1}'>";
echo "<input type='hidden' name='val2' value='{$val2}'>";
?>
<input type="submit" value="解答">
</form>
</body>
</html>
```

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="UTF-8">
<title>計算試験課題</title>
</head>
<body>
<h2>計算試験課題</h2>
<?php
$val1 = $_POST["val1"];
$val2 = $_POST["val2"];
$ans = $_POST["ans"];
echo "";
echo $val1 . "+" . $val2 . "=";
echo $ans;
$correct = $val1 + $val2;
echo "";
echo "";
if( $ans == $correct ){
         echo "O 正解";
} else {
         echo "× 不正解(正解は" . $correct . ")";
}
echo "";
?>
</form>
</body>
</html>
```

(前回)提出課題の解答例

課題5(上級問題): 課題4を拡張し,演算も3つの演算(加算・減算・乗 算)からランダムになるような合計10問の試験を作成してみましょう.さらに 成績(1問10点の合計点)を表示してみましょう.

※除算(=割り算)は今回対象外(割り切れない答えになる可能性があるので).

- ◆ 手順1: PHPのファイル(問題の表示と解答の入力Webページ)を「exam10.php」 という名前で作業フォルダに作成する(フォームデータはPOSTで送ること!!).
 ◆ 手順2・PHPプログラムのファイルを「answer10 php」という名前で作業フォルダ
- ◆ 手順2:PHPプログラムのファイルを「answer10.php」という名前で作業フォルダ に作成する(フォームデータはPOSTで受け取ること!!).
- ◆ 手順3:Webブラウザで手順1で作成したページにアクセスし確認する(何回か 試すこと). 「http://localhost/php02/exam10.php」



```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="UTF-8">
<title>計算試験10課題</title>
</head>
<body>
<h2>計算試験10課題</h2>
<form action="answer10.php" method="POST">
<?php
$opestr = array("+", "-", " × ");
for ($i=0;$i<10;$i++){
 echo "";
 $val1 = rand(1,100);
 $val2 = rand(1,100);
 sope = rand(0,2);
 echo $val1 . $opestr[$ope] . $val2 . "=";
 echo "<input type='text' name='ans[]' size='2'>";
 echo "<input type='hidden' name='val1[]' value='{$val1}'>";
 echo "<input type='hidden' name='ope[]' value='{$ope}'>";
 echo "<input type='hidden' name='yal2[]' value='{$val2}'>";
 echo "";
}
?>
<input type="submit" value="解答">
</form>
</body>
</html>
```

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="UTF-8">
<title>計算試験10課題</title>
</head>
<body>
<h2>計算試験10課題</h2>
<?php
$opestr = array("+", "-", " × ");
$val1 = $_POST["val1"];
$val2 = $_POST["val2"];
$ans = $_POST["ans"];
$ope = $_POST["ope"];
point = 0;
for ($i=0;$i<10;$i++){
 echo "";
 echo $val1[$i] . $opestr[$ope[$i]] . $val2[$i] . "=";
 echo $ans[$i];
 if( $ope[$i]==0 ){
   $correct = $val1[$i] + $val2[$i];
 }elseif( $ope[$i]==1 ){
   $correct = $val1[$i] - $val2[$i];
 }else{
   $correct = $val1[$i]*$val2[$i];
  }
 if( $ans[$i] == $correct ){
   echo " O 正解";
   $point++;
 } else {
   echo " × 不正解(正解は" . $correct . ")";
  }
 echo "";
}
echo "<span style='font-size:xx-large'>".($point*10)."</span>点/100点満点";
?>
</form>
</body>
</html>
```

MySQLの設定(1)



MySQLの設定(2)

■ 匿名ユーザの削除

- ※MySQLはデフォルトで「ユーザ名・パスワード無し」の匿名ユーザが有効になっている. セキュリティ上好ましくないので削除する.
- 1. コマンドプロンプトを起動する.
- 2. mysqlコマンドでMySQLにrootユーザで接続する.

mysql -P 63306 -u root -p ユーザ名: root パスワード:自分の生年月日8桁 ポート番号:63306

3. 以下のコマンドで匿名ユーザを削除する.

DELETE FROM mysql.user WHERE user=""; ※""はダブルクォーテーションが2つ連続.

4. 以下のコマンドの実行し、ユーザ削除を有効にする.

FLUSH PRIVILEGES;

5. MySQLとの接続を切る.

EXIT;

6. mysqlコマンドで MySQL に匿名ユーザ接続を試みて, 失敗すればOK.

ポート番号:63306

データベース作成の実際(1)



データベース作成の実際(2)

以下の作業はMySQLサーバにrootユーザで接続してから行う

■実習1:データベースの作成を行ってみましょう. データベース名: 自分の学籍番号_db

実行例

■実習2:データベースの一覧を表示させてみま しょう. 実習1で作成したデータ Database ベースが表示されているか 確認 i????_db 2 rows in set (0.00 sec)

実行例

データベース作成の実際(3)



データベース作成の実際(4)

■実習3:これからの作業で利用するユーザを作 成してみましょう.

ユーザ名: 自分の学籍番号(例:「j????」)
 パスワード: 自由
 権限: ALL
 データベース名: *
 テーブル名: *
 ※rootユーザでMySQL接続を行ってから作業する.
 ※ここで変更したパスワードは忘れないように!!
 ※以後 MySQLサーバ への接続時にはこのユーザとパスワードを使用します
 ※最後のセミコロン「;」に注意!(これを書かないでEnterキーを押しても,次の行は継続行とみなされる.継続している場合はプロンプトが「->」になる.)

データベース作成の実際(5)

■実習4: 実習3で作成したユーザでDBに接続し てみましょう.

ユーザ名: 自分の学籍番号 パスワード: (実習3で設定したパスワード)

※rootユーザでMySQLに接続している場合は, DBから切断(exitコマンド)してから行う.





データベース作成の実際(6)

実習5:自分が使用できるデータベースの一覧 を表示させてみましょう.

mysql> ??????????????????	?
Database	
information_schema • • • j?????_db	
test ++	
3 rows in set (0.00 sec)	

実行例

データベース作成の実際(7)



USE データベース名;

※以降, 選択を行ったデータベースについて操作(テーブルの作成やレコードの検索 など)が行われる

実習6: これから作業を行うデータベースの選択を行いましょう.

※データベース名は「自分の学籍番号_db」です

mysql> ??????????? Database changed



データベース作成の実際(9)

■テーブルの作成
CREATE TABLE テーブル名(カラム名 データ型(サイズ) 制約, カラム名 データ型(サイズ) 制約,・・・);
※テーブル名, カラム名については「半角英数字」と「_」が使用できる(最初の文字は 数字不可)
※データ型については以下が使用できる(ここでは一部を紹介) またサイズについて は型により自動的に決まる(よって記述しない)場合もある.
MySQL DOUBLE・・・浮動小数点型(実数型)
・日付/時刻型 DATE・・・日付型 DATETIME・・・日付問型 TIMESTAMP・・・日付時間型(レコード追加・更新時に自動更新)
 ・文字列(文字)型 ・文字列(文字)型 ・文字列(文字)型 CHAR(サイズ)・・・固定長文字列型(最大サイズ255バイト) VARCHAR(サイズ)・・・可変長文字列型(最大サイズ255バイト) TEXT・・・可変長文字列型(最大サイズ255バイト)
※制約(省略可)については以下が使用できる(ここでは一部を紹介)
PRIMARY KEY・・・ 主キー NOT NULL・・・空欄不可
UNIQUE・・・重複不可(「PRIMARY KEY」を指定した場合は自動的にこの制約も付加さ れる)

AUTO_INCREMENT ··· レコード追加時に自動で連番をつける(必ず整数型で主キー)

データベース作成の実際(10)

■テーブルの削除 DROP TABLE テーブル名;

※入っているレコード(データ)もすべて削除される ※確認のメッセージ等の表示なしに実行されるので注意すること

■テーブルー覧の表示

SHOW TABLES;

■テーブル情報の表示 DESCRIBE テーブル名:

データベース作成の実際(11)

実習8:図書館における書籍管理のための 「book(書籍)テーブル」を作成、そのテーブル情報を表示してみましょう。

※以下のスキーマ(=テーブル構造)を参考にしてください.

テーブル名	book					
フィールド名	ISBN	title	author	publisher	pub_date	price
説明	書籍番号	書名	著者	出版社	出版年月日	価格
データ型	CHAR	VARCHAR	VARCHAR	VARCHAR	DATE	INT
データ長	13	255	255	255		
初期値						
キー種	主キー					
制約						
	PRIMARY KEY					

データベース作成の実際(12)

実習8:図書館における書籍管理のための 「book(書籍)テーブル」を作成、そのテーブル情報を表示してみましょう。

Query OK, O rows affected (0.00 sec)

実行例

データベース作成の実際(13)

データ(レコード)の入力(インポート) ファイルからのデータの入力(CSVファイル)

LOAD DATA INFILE "ファイルパス" INTO TABLE テーブル名 FIELDS TERMINATED BY ","; ※「CSVファイル」(Comma Separeted Value ファイル)とは,値がカ ンマ「,」で区切られているテキストファイル

400000333X,家父長制と資本制,上野千鶴子,岩波書店,1990-10-01,2050 4000024205,ライプニッツの哲学[増補改訂版],石黒ひで,岩波書店,2003-07-01,4120 4000024302,倫理学概論,金子武蔵,岩波書店,1998-06-01,3770

※CSVファイルの1行のデータ数とテーブルのカラム数が一致している必要がある

mysql> LOAD DATA INFILE "Z:\\ book.csv" INTO TABLE book -> FIELDS TERMINATED BY ","; Query OK, 1391 rows affected (0.03 sec) Records: 1391 Deleted: 0 Skipped: 0 Warnings: 0

データベース作成の実際(14)

■実習9: 「book」テーブルにファイルからデータを インポートしましょう.

①インポートするファイルを以下からダウンロード

http://www.rsch.tuis.ac.jp/~nagai/SYS/book.csv ※保存先は「Z」ドライブのルートフォルダ(=一番上)

②データベースに接続し, 自分のデータベースを選択 ③以下のコマンドを実行

mysql> LOAD DATA INFILE "Z:¥¥book.csv" INTO TABLE book -> FIELDS TERMINATED BY ","; Query OK, 1391 rows affected (0.03 sec) Records: 1391 Deleted: 0 Skipped: 0 Warnings: 0

④SELECT文で「book」テーブルを表示し、確認する

提出課題

課題1(提出課題):図書館におけるbook(書籍)テーブルから以下のレ コードを検索してみましょう。

◆ レコードの検索条件: 価格が1100(円)以上, かつ1200(円)未満

◆ 取得フィールド: すべて

mysql> ???	? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ?	???????????????????????????????????????			
I SBN	title	author	publisher	pub_date	price
4000103563 4000260219 4000268503	岩波講座ソフトウェア科学(16) 現代政治分析 ジェンダー化する社会 ・・	ロバート・アラン・ダール 高畠通敏 姫岡とし子		1989–02–01 1999–03–01 2004–03–01	1100 1120 1130
4915787214 4938661845 +	マーケティング 社会学者のメチエ	│上田隆穂 江原淳 │ピエール・ブルデュ 田原音和	│ 新世社(渋谷区) │ 藤原書店 ⊦	1992–05–01 1994–01–01	1160 1100
10					

40 rows in set (0.00 sec) Query OK, 0 rows affected (0.00 sec)

提出課題

課題2(提出課題):図書館におけるbook(書籍)テーブルから以下のレ コードを検索してみましょう。

- ◆ レコードの検索条件: 書名が"入門"で終わり,かつ発行日が2000年1月1日以降
- ◆ 取得フィールド: 書名・発行日・価格
- ◆ レコード並替順: 価格が安い順

nysql> ????????????????????????????????????		
title	pub_date	price
- ケースで学ぶ価格戦略・入門 環境統計学入門 Mac OS 10ユーザのためのUNIX入門 ・・・(略)・・・ IT革命で変わる新しいマーケティング入門	2003-05-01 2003-04-01 2003-01-01	480 530 540 4450
暗亏技術人門 +	2003-09-01 +	<u> </u> 4460 +



課題3(提出課題):図書館における利用者を管理する「user(利用者)」 テーブルを作成し、そのテーブル情報を表示してみましょう。 ユーザ j????? でデータベースに接続して作成

◆ データベース j????_db の中にテーブルを作成

テーブル名	user					
属性名	user_id	name	address	tel	birth	reg_date
説明	ユーザ番号	氏名	住所	電話番号	生年月日	登録年月日
データ型	CHAR	VARCHAR	VARCHAR	VARCHAR	DATE	DATE
データ長	15	255	255	15		
初期値						
キー種	主キー					
制約						
	PRIMARY KEY					

提出課題

課題4(提出課題):「user(利用者)」テーブルにデータをインポートし、そのデータ(レコード)を検索(表示)してみましょう。

- ◆ インポートするファイルは以下からダウンロード.
 - http://www.rsch.tuis.ac.jp/~nagai/SYS/user.csv
- ◆ 検索はすべてのレコード, すべてのフィールド.

mysql> ??	· ? ? ? ? ? ? ? ? ·	?????????????????			
user_id	name	address	tel	birth	reg_date
│ U000001 │ U000002 │ U000003 └ · · · (省印	谷岡 春樹 塩見 ひとみ 植木 仁 略)・・・	東京都江戸川区一之江X-X 埼玉県川口市栄町X-X 埼玉県さいたま市桜区中島X-X	03–3652–XXXX 048–251–XXXX 048–851–XXXX	1980-04-02 1975-11-18 1990-06-08	2014-04-02 2014-04-02 2014-04-04
20 rows in	set (0.00 sec)				

提出課題

課題5(提出課題):図書館におけるuser(利用者)テーブルから以下のレ コードを検索してみましょう。

◆ レコードの検索条件: 誕生日が1980年1月1日より前の利用者の中で,「千葉県」もしくは 「埼玉県」に在住

◆ 取得フィールド: すべて

mysql> <mark>? ? ? ? ? ? ?</mark> '	? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ?	?????????	????????	???????
user_id name	address	tel	birth	reg_date
+ U000002 塩見 ひとみ U000004 下村 沙耶 U000007 三枝 宏 U000019 森久保 明 U000020 鈴木 和彦	埼玉県川口市栄町X-X 千葉県船橋市湊町X-X 千葉県市川市鬼越X-X 埼玉県戸田市戸田公園X-X 千葉県千葉市若葉区御成台X-X	048-251-XXXX 047-436-XXXX 047-334-XXXX 048-422-XXXX 043-236-XXXX	1975–11–18 1977–12–22 1969–06–13 1970–04–30 1971–09–02	2014-04-02 2014-04-05 2014-04-07 2014-04-15 2014-04-15
5 rows in set (0 00 sec)				